

春節明け いよいよ本格始動です！！

JSC 貿易部ニュース 中国編



毎年のことですが、墓石の業界は日本のお正月が明けて「さあー、頑張るぞ！」となって来た時に、中国の春節が始まり、スケジュール的には年初から皆様にご不便をお掛けするような申し訳ないカタチになっています。慣れてきたこととはいえ、毎回皆様のお仕事にも多少の影響は出ているかと思えます。しかし、かたやテレビを見ておられますと、インバウンドの関係もあってか中国の春節に関する報道が一番多く取り上げられているように思います。日本では1月1日が元旦、新年の始まりの日として当たり前前に定着していますが、アジア圏に目をやりますと意外と1月1日より春節の方を祝う国が多い様です。ちなみに、ご紹介しますと中国以外にも旧正月前後が国民の休日となる国は、香港・台湾・韓国・北朝鮮・ベトナム・シンガポール・マレーシア・インドネシア・ブルネイ・モンゴルと10カ国もあります。国によって期間は違いますが、中国の春節は今年だと2月5日から2月19日元宵節まで休む人が多いようです。約2週間もあり、その前後1週間は日本で

は考えられないほどの民族大移動が名物となっています。都会育ちの人は、1週間程度の休みで仕事に出られる人も多いようですが、出稼ぎで地方から出て来ている人たちは、2～3週間休むのは当たり前になっています。先程、元宵節と書きましたが、日本で言うところの小正月の様なもので、中国では元宵節が終わるまでは春節ということのようです。そう言えば、昔は日本の石屋さん小正月が終わるまでは、お墓を建てないとおっしゃっていました、お店の中での仕事はされていましたが、昔の風習からするとそれの方が普通なのかなとも思います。



さて、私たち貿易部の仕事はというと、大半は中国の工場とのやりとりですので、毎年のことではありますが、この旧正月の期間中というのは半分休み??の様な期間です。当然製品も出荷できせんし、事務所の人に連絡は取れても工場には人がいないので伝わりません。しかし、この原稿を書いている今は、やっと中国の休みが明けて工場に職人さんが戻って来ている時期です。一部大磨きの職人さんが雪の影響で交通が麻痺して帰って来られないと言うようなトラブルも耳にしましたが、早い人だと2月中頃から帰って入社して来ている人もいるそうですが、でも戻ってきたからと言って職人さんたちは、すぐに仕事を始めるわけではありません。まず給料交渉です。いくら給料をもらえるのかの交渉が始まるそうです。プロ野球のようですね!!まずは経営者からの提示額を聞いて、色々職人同士で情報交換したりして金額交渉を進めていきます。中にはツワモノもいて、休みの期間中に注文を受け過ぎて困っている職人不足の工場、臨時工員としてアルバイトで高額の日当を貰いながら給料交渉をする人もいます。なんと、その日当500円日本円で8,000円以上です!!早起きは三文の徳では無いですが、早く帰って来て、そういった稼ぎ方をする人もいます。

いま中国の工場の職人さんの給料は、高いところでは日本人の初任給に近い金額までできています。数年前、中国の工場の社長さんが「旧正月明けに職人が帰ってこないよ～！人手が足りないよ～！」と言ってたときに、「あなた、この時期日本にいても仕事にならないでしょう！中国の工場に来て、職人の代わりに石を磨いてよ～！」とよく言われましたが、そんな話も笑い話じゃなくなってきています。近い将来本当に「じゃ行きます！」と言う時代が来るかもしれませんね。

これからも最新の中国事情をお届けしていきますので、よろしくお祈いします。今月も最後までご覧いただき本当にありがとうございました。

2019/03/01